令和4年4月1日

令和4年度ポニーの会事業計画

1.　はじめに

令和4年度は、「ポニーの家生活介護」は前年度と同様20名定員、「ポニーの家多機能」は就労移行支援のサービスを廃止し、生活介護（定員38名）就労継続支援B型（定員10名）の二本立てとなり48名の定員でスタートする。令和２年１月から２年以上も感染の波が繰り返される新型コロナ感染症の問題があり、当法人も新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」を実践していく。しかし利用者の生活が窮屈にならないように工夫しながら進めていきたい。また、職員配置の関係から前年度に比べて職員数が減少するので、利用者の作業を細分化せずに大きなグループにして、関わる職員全員で協力して支援にあたっていく。朝・夕の打ち合わせで職員間の情報共有を密にし、連携してより良い支援を目指していく。

2.　事業方針

2-1　基本方針

障害のある方が地域生活や社会活動を行うことを支援し、すべての人々が共に良い人生をおくれるよう、利用者の視点に立って運営する。

2-2　重点推進項目

1. サービスの質の向上・感染症拡大防止策を徹底しつつ、サービスの継続・質の向上を図る。
2. 地域における公益的な取り組みの推進 ・新しい生活様式に対応した、公益的取組を推進する。
3. 信頼と協力を得るための情報発信 ・事業内容についての様々な情報発信により、安心と信頼を得る。
4. 人事考課制度を活用して職員の人材育成に尽力する。
5. 組織統治（ガバナンス）の確立 ・法人経営の安定のため、本部を核とした拠点間の連携・協力体制を強化する

3.　事業目標

3-1　ポニーの家多機能施設

＜令和4年度目標＞

利用者一人一人が生きがいを持ち楽しくポニーに通い、日々を過ごせるように支援する。

≪生活介護≫

（目標）

健康面に留意しながら作業や余暇活動を通して、毎日を心豊かに過ごせるよう支援する。また、安心

安全な環境を提供し、楽しくポニーに通所できるようにする。

（基本方針）

利用者の個性や能力を引き出し、適性にあった作業を提供し日々の生活に充実感を持てるように支援していく。作業以外の余暇活動においても各利用者の能力に応じて活動を楽しめるように支援していく。また機能訓練指導員(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の指導のもと、各利用者に無理のない範囲で身体機能の維持・向上に努めていく。

（サービス内容）

・利用者の状況に応じて生活や活動に関する必要な日常生活上の個別支援を提供する。

・創作活動・生産活動の機会の提供のほか、身体機能や生活能力の向上のために必要な支援をする。活動班を少数グループに分け、各班のレベルに応じた活動内容・支援の提供を行っていく。

・各作業では、それぞれの持っている力を十分に発揮できるよう多様な支援方法を考え、提供していく。

・利用者が自分自身の生きがいを持ち、楽しく通所していけるよう日々の関わりを大切にしていく。

・機能訓練指導員の指導のもと余暇時間を活用し利用者の健康維持に努め支援していく。

・新型コロナウイルス感染防止のため、食事の場所を分け、手洗い・消毒・検温の実施、必要箇所・道具の消毒、換気の徹底を実施していき、利用者が安心して通所できる環境を整えていく。

NC班：内職班、農業、クリーン班を合同班とし、利用者の能力に合った作業を提供していく。

内職では受託の作業を請け負い、従来の作業量を維持する。

農業では季節に合った作物を育て季節を感じられるように支援していく。（春：土つくり、種まき　夏：ナス、キュウリ、トマト等　秋：さつまいも　冬：小松菜、ネギ、かぶ等）また育てる過程から収穫の喜びを味わえるように支援していく。

クリーンでは、洗車や施設内清掃を通して物や場所を綺麗にする喜びを得られるようにする。

また、各作業に置いて健康面にも留意し、利用者が安心・安全に過ごせる様にしていく。

食品班：クッキー班、パン班を合同班とし、衛生観念を育み、自分たちの手で商品を作りあげていく喜びを味わえるように支援していく。より多くの品物を生産できるように組み立てを考えていく。作業手順の見直しや道具や材料の置き場所を見直し、効率よく作業ができる環境にする。

手工芸班：季節にあわせた商品を作り、四季を感じながら作業に取り組み、楽しみや達成感を提供していけるように支援していく。

ポニー売店：喫茶きままは水曜日・金曜日のみの作業になるが、施設内での社会参加の模擬

（きまま）　体験を通して、社会のマナーを身につけていけるように支援する。

（庁舎売店）藤代庁舎のエントランスホールにワゴンを常設し、一般の方たちに施設内で作った手工芸品・クッキー・パンなどを販売している。接客を通し社会の一員として働ける喜びを味わえるよう支援する。

≪就労継続支援B型≫

＜令和4年度目標＞

・生産性を向上し、適性に合った作業で安定した能力を発揮できるように支援する。

（基本方針）

菓子製造、カフェ、外部清掃など各作業での生産性を向上し、利用者の適正に応じて安定した能力が発揮できるよう、精神面や体調面に配慮して支援する。また、カフェでの作業において各利用者のレベルや希望に応じたスキルアップを図っていけるように支援する。

（サービス内容）

・個々の強みを引き出せるようによく観察をし、能力や適性にあった作業を見極め提供していく。また、働く意欲や希望を尊重し、利用者の気持ちに寄り添い、精神面や体調面の変化を見逃さないように支援する。

・個々の能力が向上するように支援し工賃向上に繋げていく。

・日常生活や作業において、利用者同士が仲間としての意識を持ち円滑に進められるようにコミュニケーションや関係づくりの構築を目指していく。

・日々、菓子製造、カフェ、外部清掃と3つに別れて作業を行うため、関わる支援員との連携を強化していく。

・各作業において危険や怪我がないよう安心安全な環境を整える。

・菓子製造での売り上げを伸ばすために、生産量を増やすように作業の構成を考えていく。

・外部清掃では現在より清掃場所が減るが、委託先や受注者が満足できるように清掃作業をおこなっていく。

・カフェ…売り上げアップのために、新メニューやイベント、キャンペーン等を考え実施していく。月額目標85万円以上とする。

3-2　ポニーの家生活介護

1. 生活介護

＜令和4年度目標＞

一人ひとりの想いを受けとめながら生活を潤わせ、地域の中で手を取り合って生活できるよう支援していく。又、安心・安全な環境を提供し、身体機能の維持・向上にも努めていく。

（基本方針）

常時介護が必要な利用者に対し、安心した楽しい時間が過ごせる様、食事や排せつ等の日常生活の支援を丁寧に行い、創作活動や生産活動の機会も提供する。

又機能訓練指導員（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）の指導のもと利用者に沿ったより効果的なリハビリテーション・機能訓練を提供し、健康状態を良好に保てるよう必要な援助を行う。

（サービス内容）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 内容 | 目標 |
| 箸作業 | 箸・ペーパースプーン・フォーク等（アオトプラス）おしぼり、ガーデニング、外出、ウォーキング、軽運動 | 個々の特性に合わせた作業工程に取り組んでいただく。また、余暇活動も取り入れて心身共に健やかに過ごせるようにする。 |
| ドルチェ | 機能訓練指導員によるリハビリ、リズム・ストレッチ体操、微細運動、外出、調理実習、ガーデニング、音楽、バイタルチェック、歯科検診 | 身体機能の維持・向上を目指しながら、一人ひとりが明るく楽しい時間を過ごせるようにする。 |
| 製本印刷 | 名刺、ハガキ印刷、文章打ち込み、カレンダー、写真印刷、献立表打ち込み | 個々の能力に合った作業を提供し、安定して取り組めるよう支援する |
| 未来工房 | ボールペン封入（株式会社ABM）厨房手伝い（野菜皮むき・精米）、ペットボトル回収・処理、荷物運搬、ダンボール梱包・処理、シュレッダー、ウォーキング、ストレッチ、軽運動 | 一人ひとりの個性を大切にしながらも集団生活に慣れ親しみ、手を取り合って様々な状況を乗り越えていく。 |

製本印刷

11/1-15年賀状・カレンダー見本作成開始・確認

11/15～年賀状・カレンダー注文開始

～12/10（カレンダー仕上げ）

12/20～（カレンダー引き渡し）

3-3　各種事業共通

1. 創作活動・文化的活動・クラブ活動・レクリエーション・健康管理
	1. 創作活動

|  |  |
| --- | --- |
| 創作活動・絵画・フラワーアレンジメント | 能力に応じ創作意欲が持てるよう支援する様々な活動に参加し、他利用者や職員と関わりを持ちながら楽しみを持って取り組んでいくよう支援していく。 |

* 1. 文化活動

|  |  |
| --- | --- |
| ミュージックベル・合奏・学習・その他 | 各活動に参加しながら、それぞれが情緒の安定を図れるよう支援していく。 |

* 1. クラブ活動

|  |  |
| --- | --- |
| 放送クラブ、新聞クラブ、ウォーキングクラブ、音楽クラブ、スポーツクラブ、ダンスクラブ、アートクラブ | 一人ひとりの興味や関心を大切にしながら、それぞれ所属するクラブ活動において自分の力を発揮できるようにしていく。 |

　　　④健康管理

　　　　　3月：内科検診・6月：レントゲン・11月：インフルエンザ予防接種・

年間４回：バイタルチェック・体重測定

【２】イベント・年間行事

　　　年間イベント･行事予定

　　　　4/1：入所式　　5月：ミニ運動会　　9月：フェスティバル　　10月：遠足（小グループ）

12月：芸術祭in取手　　2月：交流会

3-4　共同生活援助（介護包括型）ケアホーム夢未来

＜令和4年度目標＞

利用者の健康状態と安全に留意し、利用者・職員と共に手を取り合って生活していく

（基本方針）

自立を目指し、地域で安心して暮らしていきたいという利用者に対し、食事の提供、健康管理、入浴支援、日常生活及び日中活動に関する相談など必要な支援を行い、日常生活能力の維持・向上を目指す。

≪利用者≫

|  |  |
| --- | --- |
| 利用定員 | 14名 |

≪職員配置≫

|  |  |
| --- | --- |
| 管理者 | 1名（兼任） |
| サービス管理責任者 | 1名 |
| 世話人 | 7人（専任） |
| 生活支援員 | 10人 |

4.特定相談支援事業部門（キャンディ）

＜令和4年度目標＞

利用者がこれからも安定した生活を送れるよう心身の状態や生活状況に気を配り

適切な支援が行き届くよう調整を行なう。コロナの影響ができるだけ少なくなる

よう事業所と連携して環境調整に努める。

（基本方針）

　利用者が安定した毎日を過ごす中で、夢や希望を実現できるよう共に歩んでいく。

　　現在利用中の120名に対して、計画作成・定期モニタリングを行なう。

コロナ禍にあり、これまでの生活を続けていくことが当たり前ではないと感じる毎日である。障害を持った人の生活が、コロナの影響を受け揺らぐことのないよう気をつけて様子を見守っていく。モニタリング時は、精神の状態・生活状況の細かなところに気を配り、支援の必要性を見極めていく。

しかし、「現在」のことを考えるばかりではなく、「未来」にも目を向けやってみたいこと、なりたい自分に近づけるよう、新しいサービスの利用等を利用者と一緒に考え、事業所と連携し調整していく。